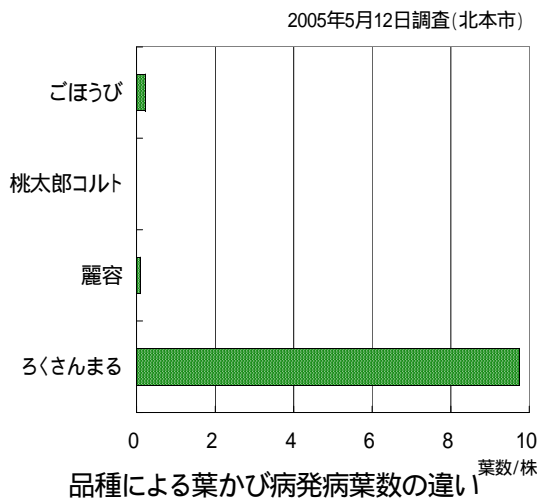


施設トマトの総合的病害虫管理技術

特別栽培による施設トマトの生産を可能とする総合的な減農薬栽培の管理體系モデルを組み立て、現地実証しました。

作付前の土壌病害対策には米ぬかを利用した土壌還元消毒法、葉かび病には耐病性品種の利用、灰色かび病には生物殺菌剤ボトキラー水和剤のダクト内投入を行うことで、化学合成殺菌剤の使用回数を半減できます。また、コナジラミ類のうち、オンシツコナジラミの発生を確実に抑制するには、非散布型殺虫剤ラノーテープを設置する前の育苗期から、ハウス開口部に防虫ネットを展張し、選択性粒状殺虫剤を処理する対策が効果的です。



葉かび病対策には、耐病性品種(「麗容」、「桃太郎コルト」、「ごほうび」)を利用するのが効果的です。

灰色かび病には、ボトキラー水和剤を開花期頃から毎日10~15gずつ暖房機ダクトに投入、30分程運転してハウス内に拡散するのが効果的です。

施設トマトの総合的病害虫管理體系のポイント

対象病害虫	7~8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 作付準備 育苗期 / 生育期 / 収穫期 </div>											
土壌病害虫	土壌還元消毒・太陽熱利用土壌消毒											
葉かび病	← 耐病性品種利用 →						→ 茎葉剤予防散布(ケッター等) →					
灰色かび病	→						ボトキラー剤ダクト内処理			→ 茎葉剤予防散布(ヘルコート等) →		
コナジラミ類 ^{注)} (ハモグリバエ類)	防虫ネット			→ 粒状殺虫剤: ホット・定植時 →			→ 黄色粘着テープ 茎葉剤予防散布(サンマイル等)・ラノーテープ →					
トモサビダニ	→						→ ハウス 茎葉剤予防散布(コマイト等) 密閉 →					

注) タバココナジラミが生息するハウスでは、ラノーテープを主体とした防除では発生を十分抑制できないので、黄色粘着テープの設置や同種に有効な殺虫剤を選択して使用する必要があります。

(園芸研究所 露地野菜担当、野菜・花担当 TEL 049-285-2206)